

# 合同学術総会

## 第13回化学生物総合管理学会 第10回社会技術革新学会

### 知の市場 協賛

日時：2016年9月14日（水） 12:30～18:30

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟3号館 105室

（東京都文京区大塚2-1-1）

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩7分、東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分  
会場アクセスは、<http://www.ocha.ac.jp/access/index.html>をご覧ください（南門からの入構が便利です）。

#### 《開催案内》

2016年6月22日にアメリカの化学物質総合管理法であるTSCA (Toxic Substances Control Act) の大幅修正が発効した。また同時期に、日本の最大のエネルギー供給国であるサウジアラビアにおいて世代交代に伴う大幅な政策転換が進んでいる。以上の事象が日本にもたらす影響を、REACH規制に明るい市川芳明氏、中東、石油事情に詳しい須藤繁氏をお招きして、論議を行う。

併せて一般発表も行う。多数の方々の発表と参加を期待する。

#### 《プログラム概要》

特別講演1 世代交代期に入った石油大国サウジアラビアが目指す国造り

須藤 繁（帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科 教授）

特別講演2 TSCAの改正とREACH規則の運用に見る日本産業へのインパクトと対応策

市川 芳明（東京都市大学 環境学部 客員教授

日立製作所 社会イノベーション協創戦略本部 チーフアーキテクト室）

一般発表

活動報告

#### 《参加方法》

★参加資格：学会の会員以外の方も参加歓迎です。

★参加登録：事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名（フリガナ）、②所属（勤務先等）、③懇親意見交換会参加有無の3点を明記のうえ、E-mail (kagakus \* cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。

★参加費・懇親意見交換会費：

学会員の方：参加は無料です。懇親意見交換会に参加の場合、2,000円を会場にて徴収いたします。

非会員の方：参加費は1,000円です。懇親意見交換会に参加の場合、参加費を含めて3,000円です。

以下の口座にお振込み下さい。

みずほ銀行飯田橋支店、普通口座 2329303、口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費及び懇親会費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証：振込の確認が出来次第、メールにてお送りいたします。

参加証は構内入構に必要ですので、プリントアウトしてご持参下さい。

**化学生物総合管理学会 社会技術革新学会**

連絡先：(E-mail) [kagakus \\* cbims.net](mailto:kagakus * cbims.net) (\*を@に直して送信して下さい)

# 合同学術総会

第13回化学生物総合管理学会 第10回社会技術革新学会

知の市場 協賛

## ■ プログラム ■

2016年9月14日(水) お茶の水女子大学  
共通講義棟3号館 105号室

時間	演目	発表者(敬称略)・所属
12:30～	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長 社会技術革新学会会長 知の市場会長
12:30～15:20	特別講演	
12:30～13:55	世代交代期に入った石油大国サウジアラビアが 目指す国造り	須藤 繁 帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科 教授
13:55～15:20	TSCAの改正とREACH規則の運用に見る 日本産業へのインパクトと対応策	市川 芳明 東京都市大学 環境学部 客員教授 (日立製作所 社会イノベーション協創戦略本部 チーフアーキテクト室)
15:20～15:35	休憩	
15:35～17:25	一般発表	
15:35～16:30	TSCA修正の概要とその意味	星川 欣孝 ケミカルリスク研究所
16:30～17:25	EUにおける内分泌化学物質規制の相克 ～リスク管理の行方と日本への示唆～	粟谷 しのぶ 弁護士
17:25～18:10	全体の質疑および総合討論	
18:10～18:30	活動報告	
18:10～18:30	第IV期 事故事例研究会 報告	横山 哲夫 事故事例研究会 幹事
18:30	閉会挨拶	
18:30～20:00	懇親意見交換会(会費制)	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。  
プログラム詳細は化学生物総合管理学会ホームページ (<http://www.cbims.net/>) または社会技術革新学会ホームページ (<http://s-innovation.org/>) からご参照下さい。